

⑤これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

阿佐海岸鉄道は、沿線地域の人口流出や少子高齢化などの影響を大きく受けるなか、輸送の最大の使命である安全・安定輸送を最優先に取り組んでまいりました。

営業面では、経営改善計画に基づき、給与カットや人員削減等の経費削減に努めて参りました。加えて、「四国みぎした55フリーきっぷ」を販売するなど、県内外のお客様が阿佐東地域を訪れるきっかけづくりに努めるとともに、利用促進策として、「お花見列車」「こいのぼり列車」等のほか、「自然体験ツアー」などのイベントの実施や、地域の各種イベントに参加しDMV車両のPRと誘客活動を行いました。また、地元の方にはマイレール意識を持って頂くために、総合学習、職場体験、幼稚園児による一日車掌も行うなど、各種事業を実施してきました。

新たに導入するDMVについては、経営の合理化が図られるとともに、観光の起爆剤として地方創生に寄与する乗り物として大いに期待されております。現在、「新たな人の流れ」を生み出すための運営体制の構築に向けて、国や自治体をはじめとする関係機関と連携を図り、着実に事業を推進しております。

当社は、開業以来赤字経営が続いており、今後も取り巻く環境は、今以上に厳しさを増していくと考えられますが、地元住民と観光客の移動手段として、引き続き安全の確保を最優先に取り組んでまいります。